

事業評価調書

◎基本情報

年度		令和4年	会計コード		10	一般		事業コード		37132
事業名		地域課題解決のためのネットワーク構築費								
評価担当課		所属名	市)地域振興部 市民自治推進課							
		課長名	大島	担当者名	今岡・近江		電話番号	011-211-2964		
施策名	主	地縁による団体(町内会・自治会)、福祉のまち推進センター、N								
	副									
アクションプラン		● 対象 ○ 対象外				戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外			
事業の性質		○ 経常経費 ● 臨時的経費								
		○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理								
事業内容	実施形態	○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ● その他								
	目的	短期	地域のまちづくりに資するスキル・ノウハウを有するNPOと地域課題を抱える町内会等の地域が連携して活動するきっかけをつくり、NPOと地域が連携して地域課題解決するための新たな取組の創出を促す。アクションプラン2019事業目標「NPOと町内会等との協働・連携事業数」:136							
		長期	地域の様々な活動主体の連携及び取組の定着により、継続的な地域の課題解決や活性化が行われるよう、ネットワークの構築を図る。							
	取組内容	NPOが町内会等との連携による地域づくりの仕組をつくるため、下記の取組みを実施する。①ネットワーク事業:NPOが町内会等と連携して実施する、地域の課題解決事業に対し支援・補助を行う。②地域連携促進事業:地域との連携促進に関する研修を実施し、まちづくりのスキル・ノウハウ・資源を有するNPOを発掘するとともに、NPOと地域と結びつけることで①のネットワーク事業への移行を目指したレベルアップのための支援を行う。								
	実施結果	①ネットワーク事業:NPOが町内会等と連携・協働して地域課題を解決する事業を公募し、令和4年度新規事業の2事業(応募は3事業)と令和2年度に複数年度事業(令和2年度から4年度まで)として採択した4事業の計6事業に対し補助を行った。②地域連携促進事業:NPO7団体を町内会等に紹介して派遣し、実際に地域で活動することで、NPOへの理解が深まった(延べ12回の派遣実施)。								
事業実施における工夫点		地域課題解決のために地域とネットワークを構築するには至らない成長途上のNPOに対して、地域連携促進事業により町内会等といった地域とのマッチングを図り、ネットワーク構築を促した。								
対象者		地域の課題解決に取組む活動主体					開始	0 年度	終了	0 年度
関連法令・条例・要綱等		地域課題解決のためのネットワーク構築事業補助金交付要綱 地域連携促進事業補助金交付要綱								
他都市の状況		様々な主体(行政、NPO、事業者、町内会等)が参画する協働事業は各指定都市それぞれのニーズを取り入れて制度化されている。								

◎事業費

(単位:千円)

		令和3年度決算	令和4年度予算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費		1,714	14,000	7,448	16,000
うち特定財源		0	0	0	0
人工		0.4	0.4	0.4	0.4
人件費		2,880	2,880	2,880	2,840
計(事業費＋人件費)		4,594	16,880	10,328	18,840
事業費 の内訳	令和4年度決算	①審査委員報酬:100千円、②地域連携促進事業報償費:55千円、③後納郵便封筒印刷料:43千円、④後納郵便料金:14千円、⑤委託費:3, 124千円、⑥ネットワーク事業補助費:3, 625千円、⑦地域連携促進事業補助費:487千円			
	令和5年度予算	①審査委員報酬:200千円、②地域連携促進事業報償費:50千円、③後納郵便封筒印刷料:35千円、④郵便料金:65千円、⑤委託費:3, 150千円、⑥ネットワーク事業補助費(1団体上限2, 000千円×6団体):12, 000千円、⑦地域連携促進事業補助費(1団体上限50千円×10団体):500千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1		指標名	NPO、町内会等が連携して実施する活性化モデル事業の創出数								
		令和3年度実績	令和4年度予定	令和4年度実績	令和5年度予定						
		0	5	6	4						
活動指標2		指標名									
		令和3年度実績	令和4年度予定	令和4年度実績	令和5年度予定						
成果指標1		指標名	NPOと町内会等との協働・連携事業数(累計)								
		令和3年度実績	令和4年度目標	令和4年度実績	令和5年度目標						
		143	136	161	175						
成果指標2		指標名									
		令和3年度実績	令和4年度目標	令和4年度実績	令和5年度目標						
項目	判定	理由									
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	令和4年度はNPOが町内会等と連携・協働して地域課題を解決するネットワーク事業は計6事業であり、いずれの活動も地域と協力しながら展開していた。補助終了後も継続して活動しているもあり、ネットワーク事業の目標である地域課題の解決や地域の活性化に資する事業だったと言える。 また、地域連携促進事業についてもNPOを地域に派遣するためのマッチングを行うことにより、連携の機会を創出することができた。									
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	令和4年度は3団体の応募のうち、2団体が新規に採択となり、令和2年度に複数年度事業として採択した4事業と合わせて6事業となった。新規事業の件数が伸びず、想定する事業規模には届かなかったが、コロナ禍であることやその影響を鑑み事業規模を縮小して募集したことを考慮すると妥当と考える。 一方で地域連携促進事業については、延べ12件の活動を実施しており、予算上想定する実績であることから、適切な事業規模と考える。									
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	令和4年度はアフターコロナによる経済活動の活性化が一定程度回復すると見込まれるものの、見通しが立たず中長期的な計画することが困難であると考えられたため、やむを得ず補助期間を単年度のみの小規模な事業としており、コロナ禍を考慮した事業内容に変更し実施した。 一方で補助終了後、経費の確保の問題等から活動を継続することができない、活動の規模を縮小せざるを得ないとの意見があったことから、活動が一定程度安定するでは継続して支援できるよう見直す必要があると考える。									
対象者の満足度 (対象者のニーズにしているか)	B	ネットワーク事業及び地域連携促進事業ともに地域と連携してこれまでと異なる事業や地域がNPOと新しい活動を行える点から、NPO・町内会等とともに一定の評価をいただいているが、事業実施する時期などについて改善要望があることから、事業を開始する時期について見直す必要があると考える。									
市民参加の実施	☐ 企画 ☒ 実施 ☐ 評価 ☐ 対象外		市民参加結果への対応	☐ 回答 ☒ 反映							
今後の改善点	ネットワーク事業については、事業の応募数が増えるよう周知方法を改善するとともに、アフターコロナによる活動の活性化が見込まれるため、補助上限の増額と複数年度支援を行うよう事業の手法について見直しする。 地域連携促進事業については、対象者から事業時期の改善について要望があることから、可能な範囲で要望に寄り添えるよう改善する。										
前回の評価	☒ A ☐ B ☐ C ☐ 評価省略対象事業・前年度実施なし										
今年度取り組んだ見直し内容	アフターコロナによる経済活動の活性化が見込まれることから、1事業あたりの補助を増額する加えて、継続した支援ができるよう補助可能期間を拡大した。また、事業開始時期を前倒して行った。			見直し効果額 (前年度)	0	千円					
今回の評価	☒ A ☐ B ☐ C ☐ 評価省略対象事業・前年度実施なし										
評価の理由	新型コロナウイルス感染症の影響から団体の活動が以前に戻らず、ネットワーク事業への応募数が募集枠を下回ってしまったが、実施した事業については、NPOや地域から一定の評価を得られており、今後も当該事業の継続が必要であると考え。										
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	☒ 改善 ☐ 現状維持 ☐ 休止・廃止									
		NPOと町内会等とのマッチング機能を持つ地域連携促進事業から、地域課題を解決するためにNPOと町内会等が連携するネットワーク事業へのレベルアップを目指した支援を行う。									
	予算	☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ その他			事業内容の検証や見直し結果を踏まえて適切な予算措置を行う。						
				見直し効果額	0	千円					